



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 クオールホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3034 URL <https://www.qolhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 敬
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 白国 宏基 (TEL) 03-6430-9060
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	71,730	17.5	3,592	23.2	3,635	22.6	1,856	120.2
2025年3月期第1四半期	61,036	40.6	2,915	55.6	2,966	52.9	843	△16.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,214百万円(54.1%) 2025年3月期第1四半期 1,436百万円(42.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	49.43	—
2025年3月期第1四半期	22.59	—

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2026年3月期第1四半期 5,958百万円 2025年3月期第1四半期 4,837百万円

のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2026年3月期第1四半期 2,915百万円 2025年3月期第1四半期 1,957百万円

のれん償却前EPS(のれん償却前四半期純利益/期中平均株式数)

2026年3月期第1四半期 77円61銭 2025年3月期第1四半期 52円43銭

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	157,478	54,515	33.7
2025年3月期	159,669	62,138	35.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 53,068百万円 2025年3月期 57,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	136,500	9.4	7,500	23.0	7,600	22.2	3,600	197.0	95.84
通期	280,000	6.1	15,500	15.1	15,600	12.8	7,000	35.5	186.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	38,902,785株	2025年3月期	38,902,785株
2026年3月期1Q	1,305,819株	2025年3月期	1,349,819株
2026年3月期1Q	37,564,256株	2025年3月期1Q	37,335,568株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数には、従業員持株会専用信託口の所有する当社株式を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

決算補足説明資料については、適宜当社ホームページに掲載いたします。

<https://www.qolhd.co.jp/ir/library/supplementarymaterial.html>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)におけるわが国経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復が見られました。しかしながら、物価上昇に伴う個人消費の減速やアメリカの通商政策等、景気の先行きにつきましては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループは、このような大きく変化する事業環境においても、患者さまにいちばん近い会社であり続けることを目指しており、「質の向上」「規模拡大」「更なる成長」という三つのキーワードを掲げ、全事業一体となって取り組んでおります。

2025年4月には、第一三共エスファ株式会社の株式の29%を追加取得し、株式保有割合は80%となりました。第一三共エスファ株式会社につきましては、2024年12月に発売いたしましたAG製品3成分7品目が業績に大きく寄与しております。今後も、更なる市場シェア拡大や、製品ポートフォリオの拡大を目指してまいります。

また、前期に実施された調剤報酬改定で新設された医療DX推進体制整備加算を取得できる体制を整備したことや、選定療養制度開始に伴い後発医薬品の使用割合が増加したことにより、技術料単価が上昇しております。引き続き、国から求められる薬局のあり方に沿って運営してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高71,730百万円(前年同期比17.5%増加)、営業利益3,592百万円(前年同期比23.2%増加)、経常利益3,635百万円(前年同期比22.6%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,856百万円(前年同期比120.2%増加)となりました。また、EBITDAについては、5,958百万円(前年同期比23.2%増加)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 薬局事業

薬局事業においては、薬局の機能分化等の専門性向上、患者さまの利便性向上やM&A・新規出店及び在宅・施設調剤の推進による規模の拡大、DXの活用等による生産性の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間において、出店状況は、新規出店により4店舗増加した一方、閉店により7店舗減少した結果、当事業全体で店舗数は945店舗となりました。今後も付加価値の高い薬局を展開してまいります。

薬局運営においては、2025年6月に、KDDI株式会社がローソン店舗内のブースにて提供する、次世代リモート接客プラットフォームに参画いたしました。当プラットフォームでは、患者さま自身のスマートフォン等を用いることなく、当社グループのオンライン専門薬局「クオールどこでも薬局」と繋ぐことにより、オンライン服薬指導を受けることが可能となりました。これにより、オンラインサービスの利用が難しかった患者さまをはじめ、様々な患者さまに服薬指導を受けていただくことで、新たな顧客体験の提供及び都心部と地方における医療資源の偏在等の課題の解決を実現いたします。

業績につきましては、医療DX推進体制整備加算の取得等が進んだことや、後発医薬品の使用割合が増加したことにより、技術料単価が上昇いたしました。

その結果、売上高は42,840百万円(前年同期比4.3%増加)、営業利益は1,751百万円(前年同期比7.4%増加)となりました。

② BPO事業

BPO事業においては、引き続き、CSO事業、CRO事業、紹介派遣事業、出版関連事業の規模を拡大してまいります。

CSO事業においては、派遣MRを活用する企業数は増加しているものの、MR全体の人数は減少しているため、人財確保の重要性がより一層増しております。今後は、人材紹介会社との連携強化等により採用力を高めるとともに、医療の発展に即した様々な領域の営業も受注してまいります。また、医薬品や食品等の開発業務の受託を行うCRO事業においては、食品試験を中心とした受注の増加により拡大してまいります。

紹介派遣事業においては、特に薬剤師の紹介派遣に関して、社員の採用を前期に強化したことにより、社員数の増加に伴い成約件数が増加した一方、人件費や広告宣伝費等の固定費が増加いたしました。今後も引き続き、人材育成及び生産性の向上に注力してまいります。

出版関連事業においては、既存の資材制作事業に加え、コンベンション事業やコンプライアンスサービス事業等が拡大しております。また、2025年7月には、多様な視点で医療の今と未来を読み取る医療情報誌『QOL VIEW』を創刊いたしました。医療関係者の自己研鑽や医療施設へ訪問する際の情報提供における活用等により、発行部数を拡大してまいります。

その結果、売上高は3,483百万円（前年同期比0.5%増加）、営業利益は493百万円（前年同期比14.2%減少）となりました。

③ 製薬事業

製薬事業においては、第一三共エスファ株式会社を中心に、更なる成長を目指します。

製品ラインナップについては、引き続きAG製品を中心に拡充してまいります。また、MRの情報提供に薬局事業の知見を活かすことで、患者さまや医療関係者目線の情報提供を行い、市場シェアを拡大してまいります。

業績につきましては、2024年12月に発売いたしましたAG製品3成分7品目が大きく寄与しており、更なる市場シェア拡大を目指してまいります。一方で、第一三共エスファ株式会社のグループ入りに伴う独自のシステム関連投資等が発生しているため、ニーズが少ない包装単位の販売を中止する等、不採算品目の整理によるコスト削減を進めております。

その結果、売上高は25,407百万円（前年同期比54.1%増加）、営業利益は2,315百万円（前年同期比44.3%増加）となりました。

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

※CSO：Contract Sales Organizationの略

※CRO：Contract Research Organizationの略

※MR：Medical Representativeの略

※AG：Authorized Genericの略

（参考）報告セグメントごとの状況

		前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
薬局事業	売上高	41,081	42,840	4.3
	セグメント利益	1,630	1,751	7.4
BPO事業	売上高	3,464	3,483	0.5
	セグメント利益	575	493	△14.2
製薬事業	売上高	16,490	25,407	54.1
	セグメント利益	1,605	2,315	44.3
計	売上高	61,036	71,730	17.5
	セグメント利益	3,811	4,560	19.7

（注）各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、157,478百万円となり、前連結会計年度末から2,190百万円減少しております。

これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が5,429百万円増加した一方、現金及び預金が6,481百万円、その他流動資産が1,348百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、102,962百万円となり、前連結会計年度末から5,431百万円増加しております。

これは主に、未払法人税等が2,131百万円減少した一方、買掛金が8,459百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、54,515百万円となり、前連結会計年度末から7,622百万円減少しております。

これは主に、当社連結子会社である第一三共エスファ株式会社の株式を追加取得したことにより、資本剰余金が5,331百万円、非支配株主持分が3,567百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,727	20,246
受取手形、売掛金及び契約資産	21,377	26,806
商品及び製品	4,505	6,254
仕掛品	211	212
原材料及び貯蔵品	4,162	5,175
その他	3,366	2,017
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	60,348	60,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,749	8,839
工具、器具及び備品（純額）	1,693	1,651
土地	6,943	6,913
その他（純額）	754	564
有形固定資産合計	18,141	17,969
無形固定資産		
のれん	39,395	38,336
営業権	29,366	28,552
ソフトウェア	1,027	1,007
その他	549	794
無形固定資産合計	70,338	68,690
投資その他の資産		
投資有価証券	143	136
敷金及び保証金	4,174	4,333
繰延税金資産	2,418	1,771
退職給付に係る資産	2,136	2,139
その他	1,990	1,749
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	10,841	10,108
固定資産合計	99,321	96,768
資産合計	159,669	157,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,715	39,174
短期借入金	13,500	15,600
1年内返済予定の長期借入金	8,369	8,211
未払金	5,149	4,942
未払法人税等	2,761	630
賞与引当金	2,436	1,877
返金負債	7,082	6,960
その他	4,187	4,227
流動負債合計	74,202	81,623
固定負債		
長期借入金	19,202	17,146
繰延税金負債	302	481
役員退職慰労引当金	156	130
退職給付に係る負債	885	898
資産除去債務	1,175	1,172
その他	1,605	1,508
固定負債合計	23,328	21,338
負債合計	97,531	102,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,786	5,786
資本剰余金	11,301	5,970
利益剰余金	41,988	43,204
自己株式	△1,959	△1,894
株主資本合計	57,116	53,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	1
その他の包括利益累計額合計	6	1
非支配株主持分	5,014	1,447
純資産合計	62,138	54,515
負債純資産合計	159,669	157,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	61,036	71,730
売上原価	51,886	61,344
売上総利益	9,149	10,386
販売費及び一般管理費	6,234	6,793
営業利益	2,915	3,592
営業外収益		
受取家賃	37	87
受取手数料	14	17
保険解約返戻金	25	—
補助金収入	2	1
受取保証料	14	14
助成金収入	6	47
その他	36	32
営業外収益合計	136	201
営業外費用		
支払利息	46	84
支払手数料	9	19
賃貸費用	17	18
その他	12	36
営業外費用合計	86	158
経常利益	2,966	3,635
特別利益		
固定資産売却益	4	42
特別利益合計	4	42
特別損失		
固定資産除却損	24	25
固定資産売却損	4	2
段階取得に係る差損	214	—
事業整理損	—	59
その他	10	3
特別損失合計	254	91
税金等調整前四半期純利益	2,715	3,586
法人税等	1,280	1,367
四半期純利益	1,434	2,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	591	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	843	1,856

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,434	2,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△4
その他の包括利益合計	2	△4
四半期包括利益	1,436	2,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845	1,851
非支配株主に係る四半期包括利益	591	362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬局事業	BPO事業	製薬事業	計		
売上高						
処方箋応需による売上	38,081	—	—	38,081	—	38,081
医薬品製造販売による売上	—	—	16,490	16,490	—	16,490
その他	3,000	3,464	—	6,464	—	6,464
顧客との契約から生じる収益	41,081	3,464	16,490	61,036	—	61,036
(1) 外部顧客への売上高	41,081	3,464	16,490	61,036	—	61,036
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	327	—	355	△355	—
計	41,109	3,792	16,490	61,392	△355	61,036
セグメント利益	1,630	575	1,605	3,811	△895	2,915

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は、次のとおりであります。

(単位: 百万円)

セグメント間取引消去	656
全社費用※	△1,551
合計	△895

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬局事業	BPO事業	製薬事業	計		
売上高						
処方箋応需による売上	39,568	—	—	39,568	—	39,568
医薬品製造販売による売上	—	—	25,407	25,407	—	25,407
その他	3,271	3,483	—	6,755	—	6,755
顧客との契約から生じる収益	42,840	3,483	25,407	71,730	—	71,730
(1) 外部顧客への売上高	42,840	3,483	25,407	71,730	—	71,730
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	313	—	342	△342	—
計	42,869	3,796	25,407	72,073	△342	71,730
セグメント利益	1,751	493	2,315	4,560	△968	3,592

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は、次のとおりであります。

(単位: 百万円)

セグメント間取引消去	718
全社費用※	△1,687
合計	△968

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年4月1日付で、連結子会社である第一三共エスファ株式会社の株式の29%を追加取得いたしました。この結果、当社の株式保有割合は80%となり、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が5,331百万円減少、非支配株主持分が3,567百万円減少しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	807百万円	1,307百万円
のれんの償却額	1,114	1,058